

6th SPORTS MEDICINE FORUM

第6回 スポーツメディスンフォーラム

テーマ▶ コリジョンスポーツと野球～医療側の視点と現場の視点



会期

2015年3月1日 [日]

開催時刻▶ 9:00～16:10

会場

イイノホール & カンファレンスセンター

東京都千代田区内幸町2丁目1-1

担当世話人

菅谷 啓之 (船橋整形外科病院 肩関節・肘関節センター)

参加費

医師 ¥5,000 / 一般 ¥3,000 / 学生 ¥1,000

※事前参加登録不要。当日直接会場へお越しください。

協賛: アルケア株式会社
スミス・アンド・ニューエンドスコピー株式会社
日本シグマックス株式会社

ランチョンセミナー共催: 久光製薬株式会社

事務局: 第6回スポーツメディスンフォーラム事務局

(株)アイ・エス・エス内
〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル8階
TEL: 03-6369-9984 FAX: 03-3453-1180

スポーツメディスンフォーラムWEBサイト:

<http://www.sports-mf.com/>

- 単位申請予定
- 日本整形外科学会 (専門医、スポーツ医) 資格継続単位
 - 日本医師会認定健康スポーツ医 資格継続単位
 - 日本医師会生涯教育制度 資格継続単位
 - 日本体育協会公認スポーツドクター資格更新義務研修会
 - 専門・認定理学療法士制度 資格継続単位
 - 健康運動指導士・健康運動実践指導者 資格継続単位

【プログラム】

モーニングシンポジウム コリジョンアスリートの肩外傷と競技復帰

- 座長: 川崎 隆之 (順天堂大学 整形外科) / 山田 睦雄 (流通経済大学 スポーツ健康科学部)
- ラグビーにおける肩外傷のOverview 望月 智之 (東京医科歯科大学 整形外科)
- ラグビーの肩外傷に対する治療法 山崎 哲也 (横浜南共済病院 整形外科)
- 反復脱に対する鏡視下Bristow法と競技復帰 鈴木 一秀 (麻生総合病院 スポーツ整形外科)
- 反復脱に対するRemplissageを加えた鏡視下法と競技復帰 菅谷 啓之 (船橋整形外科病院 肩関節・肘関節センター)
- 現場に携わるPTが考える肩外傷後の競技復帰 真木 伸一 (明治大学ラグビー部 PT)
- 現場トレーナーが考える肩外傷後のアスレティックリハビリテーション 田代 智史 (サントリーサンゴリアス)
- 現場S&Cが考える肩のコンディショニング・予防 太田 千尋 (慶應義塾大学蹴球部 S&C)
- タックル、ブレイクダウンのコーチング 沢木 敬介 (ラグビー日本代表 ヘッドコーチ)
- 総合討議

ランチョンセミナー スポーツにおける上肢の神経障害の診断と治療

- 座長: 伊藤 恵康 (慶友整形外科病院)
- 講師: 岩堀 裕介 (愛知医科大学 整形外科)

特別講演

『メジャーリーグにおける選手管理とチームドクターの役割』

- 座長: 菅谷 啓之 (船橋整形外科病院 肩関節・肘関節センター)
- 講師: Brian Busconi, MD (Team Physician, Boston Redsox)

アフタヌーンシンポジウム 野球選手の肩肘障害と競技復帰

- 座長: 菅谷 啓之 (船橋整形外科病院 肩関節・肘関節センター) / 能勢 康史 (NPO法人 野球共育塾)
- 投球動作のメカニクスと障害発生メカニズム 瀬戸口 芳正 (みどりクリニック)
- 肩の投球障害: その病態と対応 高橋 憲正 (船橋整形外科病院 肩関節・肘関節センター)
- 肘の投球障害: その病態と対応(成長期) 高原 政利 (泉整形外科病院)
- 肘の投球障害: その病態と対応(成人期) 古島 弘三 (慶友整形外科病院)
- 投球障害に対する理学療法(身体機能からのアプローチ) 鈴木 智 (船橋整形外科病院 理学診療部)
- 投球障害からの競技復帰～身体機能と投球動作 谷川 哲也 (JX-ENEOSTレーナー)
- 投球障害から競技復帰に何が必要か。 能勢 康史 (NPO法人 野球共育塾)
- 総合討議